

令和4年度第2回支部長会

総務・企画部

令和5年1月21日(土)午後3時より、都柔整会館3階研修ホールに於いて「令和4年度第2回支部長会」が開催された。支部長会ではコロナウイルス感染対策を行いながら、狩野総務・企画部長進行のもと新井副会長より開会が宣言された。まず始めに伊藤会長の挨拶では「組織を良くする為に、しっかりと意見交換いたしましょう」とブレる事のない強い意気込みを語られた。



続いて「議題1 令和5年度選挙管理委員の選定」が行われた。事前に各ブロックから選出された来年度の選挙管理委員が以下に決定した。

中央・城西ブロック 新宿支部 小林 康律 支部長

城南 ブロック 港支部 川上 直之 支部長

城北 ブロック 豊島支部 無藤 龍雄 支部長

城東 ブロック 墨田支部 湯川 淳 支部長

多摩 ブロック 武蔵野支部 佐藤 雅徳 支部長

新宿支部 小林支部長が欠席の為、委員長・副委員長の選出は後日となった。

引き続き「議題2 各部報告」では、
・浜口財務部長より「支部受託事業のご報告について」「支部会計について」「インボイス制度について」
・小池保険部長より「明細書発行体制加算について」「明細書発行体制加算のアンケートについて」「返戻案件について」「不適切な患者照会について」「柔整におけるデジタル化について(マイナンバーカードリーダー・電子請求化)」



・吉田広報・情報管理部長より「コンパスについて」「HPのリニューアルについて」「ツイッターについて」

・金子学術・事業運営部長より「学術大会について」

- ・吉田支部活動支援部長より「コロナの借り換え制度について」
 - ・深井組織管理部長より「東京マラソンについて」
 - ・狩野総務・企画部長より「賀詞交歓会について」「70周年記念授賞式について」
- それぞれ担当部長より詳細説明がなされ、続く「質疑応答」にて支部長より
- ・調査書と返戻について
 - ・資格確認、電子請求について

等 質問が出され、担当理事より現状説明がなされた。

次に「議題3 調査委員会報告書」では、佐々木善三 弁護士、岩佐孝仁 弁護士、石川 豊 税理士の3名の会計調査・報告委員会の委員が紹介され、委員会から調査報告が行われた。その後、委員会から現状の改善点等が示され、理事より改善策についての説明がされた。

調査報告では「改善点はあれども意図した不正会計は認められなかった」との報告があり、改善策について執行役員は真摯に受け止め、会計調査・報告委員会より指南された執務日誌作成・会計処理方法等に改善していくことで、より透明性を保つことに努めると前に進む姿勢を示した。

その会計調査・報告委員会は、国からも信頼される専門家で構成されており、調査方法の説明から結果への導き方の説明では、都柔整執行役員に対し第三者目線を以て厳しい調査が行われたことが随所に見られ、報告結果の信憑性を高めるものとなった。

その後の質疑応答では、各担当理事から説明がされ、最後に深井専務理事の閉会の辞にて支部長会は終了した。

今回、昨年に週刊誌で報道された疑義に対し、公益を認定し監査をおこなっている東京都に対しても会計調査報告を行うこととなり、当会執行部では会計調査・報告委員会(第三者委員会)を立ち上げ、その調査を以て疑義はなかったことを東京都に報告した。また、本来令和4年12月に予定していた支部長会だが、会計調査報告も議題とすることから、その調査結果を待ったために約1か月遅れで開催されることとなった。

柔整業界では、令和になって制度改革・教育改革が進んでおり、大きな波は始まったばかりで、改革の成果が実感できる事はまだ少ない。ましてやコロナ禍という状況の中で、改革の歩みを感じるどころか、経済的にも余裕がない会員もいることも推察される。しかし、柔整のデジタル化など、改革の波は着実に進んでいる。前を見て一步一步、未来の為に進もうとする執行役員の姿勢と、業界の歩を止めたいいけないという強い想いが重なった支部長会であった。

